

ポーランド政治クロノロジー(2011年6月)

月	内政	外交
6月	<p>1日 トゥスク首相, ヴォシチック・エネルギー調整局長を任命。</p> <p>4日 「ポーランドが最も重要」(PJN)第1回党大会。新党首にコバル欧州議員を選出。クルジコフスカ議員は党首辞任。</p> <p>5日 コモロフスキ大統領, 議会選挙公示日を8月6日と発言, 2日間投票制も示唆。</p> <p>7日 トゥスク首相, EU 議長国下優先課題につき各政党代表と協議。</p> <p>7日 トゥスク首相, A2高速道路建設(ワルシャワ-ウッジ間)の建設計画を見直す考えを示唆。</p> <p>7日 ポンツィリウシュ議員, PJN 党団長に選出。</p> <p>8日 リビツキ PJN 議員, 同党を離党。</p> <p>9日 民主左翼連合(SLD), 政府に対し, ポーランド農業の現状に対する報告を要求。</p> <p>10日 下院, 国家記憶院(IPN)所長にカミンスキ氏を承認。SLD は IPN 廃止を主張し棄権。</p> <p>11日 市民プラットフォーム(PO)党大会開催(於:グダンスク)。クルジク=ロストコフスカ前 PJN 党首が出席し, PO への鞍替えを表明。</p> <p>11日 「法と正義」(PiS), 若者のための集会を開催(於:ワルシャワ)。</p> <p>12日 農民党(PSL), 選挙スローガン「人が最も重要」を発表。</p> <p>13日 国道・高速道路総局と中国企業 COVEC との A2 高速道路建設計画をめぐる最終交渉決裂。</p> <p>14日 憲法法廷, 公務員雇用合理化法(公務員10%削減)を違憲と判断。</p> <p>14日 カリシュ SLD 議員を委員長とするブリダ元議員死亡事件調査委員会, 最終報告を発表。</p> <p>16日 アルウコヴィッチ国務大臣, 壮年層・児童・障害者に対する支援プログラム発表。</p> <p>16日 ポレンバ欧州議員, PiS 選挙対策本部長に就任。</p> <p>17日 コモロフスキ大統領, 原子力改正法案に署名。</p>	<p>1日 コモロフスキ大統領, スペイン訪問。</p> <p>1日 チリッチ・セルビア経済・地域開発相, ポーランド訪問。</p> <p>1日 ポーランド・露難問委員会会合(於:リガ)。</p> <p>1日 アハラリア・グルジア国防相, ポーランド訪問(-2日)。</p> <p>1日 ペドチェンコ・ウクライナ軍参謀総長, ポーランド訪問(-2日)。</p> <p>1日 軍裁判所, 2007年8月にアフガニスタンのナンガルハルで発生した住民に対する砲撃事案により起訴された7名のポーランド軍兵士に対して無罪判決。</p> <p>2日 コモロフスキ大統領, イタリア訪問。</p> <p>2日 トゥスク首相, フランス訪問。</p> <p>2日 アフガニスタン派遣隊兵士1名死亡。</p> <p>5日 ポーランド人専門家, 墜落した政府専用機のブラックボックス本体調査のため訪露(-19日)。</p> <p>6日 ギュル・トルコ大統領, ポーランド訪問(-7日)。</p> <p>6日 シコルスキ外相, ASEM 外相会合に出席(-7日, 於:ゲデレー(ハンガリー))。</p> <p>8日 クリフ国防相, NATO 国防相会合に参加。また, ゲイツ米国防長官及びデメジエール独国防相とバイ会談(-9日, 於:ブリュッセル)。</p> <p>9日 ヴロツワフ・グローバル・フォーラム開催(-11日)。</p> <p>9日 ナイデル外務次官, 第3回リビア・コンタクトグループ会合に出席(於:アブダビ)。</p> <p>10日 ストルテンベルグ・ノルウェー首相, ポーランド訪問(於:グダンスク)。</p> <p>10日 独連邦議会, ナチスにより逮捕されたポーランド系少数民族の名誉回復と, 在独ポーランド人コミュニティに対する支援増加をうたった決議を採択。</p> <p>13日 アンシブ・エストニア首相, ポーランド訪問(於:グダンスク)。</p> <p>13日 クリフ国防相とファインシュタイン駐ポーランド米国大使, 両国空軍間の協力に関する覚書に署名。</p> <p>13日 チェニユフ参謀総長, 変革連合軍主催の軍事戦略パートナー会合に参加(-14日, 於:ベオグラード)。</p> <p>14日 外務省, 在ベラルーシ・ポーランド人ジャーナリストの逮捕・非公開裁判を非難する声明を発表。</p>

<p>19日 PiS, 選挙プログラム発表。</p> <p>20日 SLD, 上院議員選挙において, チモシェヴィッチ元首相, ボロフスキ・ポーランド社会民主党 (SdPL) 党首らを推薦すると発表。</p> <p>20日 ミガルスキ欧州議員ら, 今秋議会選挙キャンペーンにおける外国人差別・民族主義を排除するイニシアティブを立ち上げ。</p> <p>21日 リジク神父(ラジオ・マリア局長), 欧州議会のエネルギー安全保障のセミナーにて, ポーランドは全体主義が支配していると発言。</p> <p>22日 PiS, 議会選挙における争点として, 物価高騰, 財政悪化, 医療サービス民営化(国民投票の実施), エネルギー安全保障を重視と発表。</p> <p>25日 PSL, 党大会開催。選挙綱領及び出馬候補者リストを発表。</p> <p>26日 PJN, 議員定数の半減を含む 55 の政策提言を発表。</p> <p>27日 トゥスク首相, スモレンスクにおける政府専用機墜落事故調査報告書を受領。</p> <p>27日 コテツキ財務次官, 2012 年予算案を 9 月下旬までに提出する見通しと発表。</p> <p>28日 下院, ポーランド EU 議長国優先事項に関する読会開始。</p> <p>28日 ロストコフスカ議員(前PJN党首), 市民プラットフォーム議員クラブに合流。</p> <p>28日 リジク神父, 欧州議会における誹謗発言につき謝罪。</p> <p>28日 SLD, 下院前にて中絶合法化を要求する展示会開催。</p> <p>29日 コモロフスキ大統領, 原子力事業への投資の準備・履行に関する法案に署名。</p> <p>29日 PiS, 政府専用機事故墜落原因に関する党見解「白書」を発表(-30日)。</p> <p>29日 政府, 反差別プログラム導入。</p> <p>30日 下院, 国家ラジオ・テレビ評議会の年次報告書を否決。</p> <p>30日 労組「連帯」, 大規模デモを開催(於:ワルシャワ)。</p>	<p>14日 BAE システム(英), ポーランド空軍の高等練習機の入札から撤退すると発表。</p> <p>15日 シコルスキ外相, エジプト, チュニジア訪問(-16日)。</p> <p>16日 カルミ=レ・スイス大統領, ポーランド訪問。</p> <p>16日 トゥスク首相, ヴィシエグラード・グループ首脳会合に出席(於:ブラチスラバ)。</p> <p>16日 ボルセヴィチ上院議長, 第13回欧州上院議員会合に出席(-19日, 於:マドリッド)。</p> <p>16日 クリフ国防相, 第28回地球規模の安全保障に関する国際ワークショップに参加(於:パリ)。</p> <p>16日 チェニューフ参謀総長, アフガニスタン訪問(-18日)。</p> <p>17日 コモロフスキ大統領, 訪独(-18日)。</p> <p>17日 欧州議会幹部, ポーランド訪問。</p> <p>20日 シコルスキ外相, EU 外務理事会・総務理事会に出席(於:ルクセンブルク)。</p> <p>21日 コモロフスキ大統領, スロバキア訪問(-22日)。</p> <p>21日 ポーランド・独合同閣議開催(於:ワルシャワ)。</p> <p>21日 シコルスキ外相, フランス訪問(-22日)。</p> <p>21日 ボルセヴィチ上院議長, チェコ訪問。</p> <p>21日 デメジエール独国防相, ポーランド訪問。両国の軍事協力に関する枠組み協定に署名。</p> <p>22日 シコルスキ外相, ウクライナ訪問。</p> <p>22日 政府, KFOR 及び EUFOR 任務の延長に関する動議を大統領に提出。</p> <p>23日 トゥスク首相, 22日のオバマ米大統領のアフガニスタン撤収に関する演説の内容を歓迎し, クリフ国防相にポーランド軍の具体的撤収計画案作成を指示。</p> <p>24日 トゥスク首相, 欧州理事会に出席。</p> <p>25日 シコルスキ外相, パチカン教皇庁に, リジク神父の発言に対する抗議書簡を発出。</p> <p>27日 チェニューフ参謀総長, スウェーデン訪問。</p> <p>29日 シコルスキ外相及びフィーレ欧州委員(拡大・近隣政策担当), ベラルーシ野党代表者と会談(於:ワルシャワ)。</p> <p>29日 シコルスキ外相, クファシニェフスキ元大統領, 民主主義共同体外相会合に出席(-1日, 於:ヴィリニユス)。</p> <p>29日 ヴォイトヴィチ農業副大臣, 訪露。</p> <p>30日 ロゴージン露大統領特使(ミサイル防衛及びNATO諸国との交渉担当), ポーランド訪問。</p>
---	---